

松阪市議会議長
山本芳敬様

平成 29 年 11 月 14 日
田中正浩

「よくわかる市町村財政分析」講座

期日 2017 年 11 月 6 日（月）～7 日（火）

場所 都立多摩図書館セミナールーム（西国分寺）

主催 NPO 法人多摩住民自治研究所

講師 大和田一紘（NPO 法人多摩住民自治研究所理事）

目的

予算書、決算書などの見方を勉強することと今回の研修講座の表題で「決算情報をいかに予算審議と連動させ、誰にもでもできる財政分析」が掲げてありましたので松阪市の財政状況を自分の力で分析できるようになり議会質問、議員活動で活用したいと思い参加しました。

講義内容

第 1 講は、決算カードを中心に財政情報の開示を第一ステージとし、第二ステージは、「類似団体比較カード」、「地方交付税算定台帳」、「財政状況資料集」を使用し財政分析を進める方法を勉強した。

第 2 講は、市町村の歳入の仕組みを学びました。

第 3 講は、歳出の分析を通じて首長の政治姿勢や政策を学べることを勉強し、住民が必要としている歳出の在り方などを勉強した。

第 4 講は、市町村の財政分析に際して様々な「財政指標」がもちいられますが、自治体の数字の読み方を学び、議会活動での生かし方を勉強しました。

第 5 講は、類似団体比較カードと財政状況資料集を使用した自治体財政運用の 解析と類似団体比較とのデータ比較方法の勉強。

第 6 講は、地方交付税制度の基礎や臨時財政対策債、交付税の算定におい

て、トップランナー方式の導入などについての勉強を行いました。

所感

いままでは、市民の立場で松阪市の財政を少なからず関心を持ち決算書などの大まかな数字は、理解しておりましたが市会議員として歳入歳出決算や財政状況を把握し、自分でも財政状況を分析できることが必要だと思い今回の研修に参加しました。

しかし今回の講習会スタッフに聞きましたが参加者の半数以上が再度受講者と聞き改めて内容の難しさと議会人としての財政分析能力アップに責任を感じています。

また今回の研修した「まちの広報」についてのあり方を考え市民にいか
に情報を伝え、逆に行政の問題点への市民からの問いに正確に答える方法
などを検討しなければいけないと改めて感じております。これからも今以
上に財政分析力をつけ、首長の政策などについて予算執行をチェックし市
民に財政をしっかりと説明できる能力を付け、議員活動できる力をつけた
く思いました。